

運用報告書 (全体版)

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式	
信託期間	2012年12月17日から2022年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当世界株指数 (以下「高配当株戦略指数」といいます。) から得られる総合収益の獲得、および毎月の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス 国内マネー・マザーファンド	スワップ取引 本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジあり) A」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド (ヘッジあり) Aにおける高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
組入制限	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるシンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジあり) A」といいます。) の分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド (ヘッジあり) Aの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第90期 <決算日 2020年6月25日>
 第91期 <決算日 2020年7月27日>
 第92期 <決算日 2020年8月25日>
 第93期 <決算日 2020年9月25日>
 第94期 <決算日 2020年10月26日>
 第95期 <決算日 2020年11月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース」は、2020年11月25日に第95期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジありコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) 参考指数	投資信託 受益証券 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率				
第12作成期	66期 (2018年6月25日)	円 7,185	円 96	% △2.0	18,519.78	% 97.9	% -	百万円 5,781
	67期 (2018年7月25日)	7,141	96	0.7	18,684.82	0.9	-	5,524
	68期 (2018年8月27日)	7,156	96	1.6	19,015.11	1.8	-	5,402
	69期 (2018年9月25日)	7,190	96	1.8	19,409.12	2.1	-	5,292
	70期 (2018年10月25日)	6,549	96	△7.6	17,914.20	△7.7	-	4,749
	71期 (2018年11月26日)	6,404	96	△0.7	17,785.08	△0.7	-	4,553
第13作成期	72期 (2018年12月25日)	5,937	96	△5.8	16,749.67	△5.8	-	4,178
	73期 (2019年1月25日)	6,184	78	5.5	17,730.95	5.9	-	4,337
	74期 (2019年2月25日)	6,486	78	6.1	18,893.85	6.6	-	4,515
	75期 (2019年3月25日)	6,429	78	0.3	18,993.71	0.5	-	4,404
	76期 (2019年4月25日)	6,516	78	2.6	19,535.20	2.9	-	4,408
	77期 (2019年5月27日)	6,024	78	△6.4	18,298.10	△6.3	0.1	4,022
第14作成期	78期 (2019年6月25日)	6,138	78	3.2	18,932.54	3.5	0.1	3,933
	79期 (2019年7月25日)	6,135	78	1.2	19,201.71	1.4	0.1	3,826
	80期 (2019年8月26日)	5,685	78	△6.1	18,043.27	△6.0	0.1	3,513
	81期 (2019年9月25日)	6,001	78	6.9	19,365.01	7.3	0.1	3,654
	82期 (2019年10月25日)	6,050	78	2.1	19,838.11	2.4	0.1	3,655
	83期 (2019年11月25日)	6,172	78	3.3	20,540.92	3.5	0.1	3,684
第15作成期	84期 (2019年12月25日)	6,307	78	3.5	21,318.84	3.8	0.1	3,670
	85期 (2020年1月27日)	6,138	74	△1.5	21,026.52	△1.4	0.1	3,557
	86期 (2020年2月25日)	5,939	74	△2.0	20,532.41	△2.3	0.1	3,422
	87期 (2020年3月25日)	3,901	74	△33.1	13,602.66	△33.8	0.2	2,244
	88期 (2020年4月27日)	4,629	74	20.6	16,559.50	21.7	0.2	2,661
	89期 (2020年5月25日)	4,726	74	3.7	17,227.64	4.0	0.2	2,716
第16作成期	90期 (2020年6月25日)	4,915	74	5.6	18,243.53	5.9	0.1	2,790
	91期 (2020年7月27日)	4,923	74	1.7	18,615.77	2.0	0.1	2,753
	92期 (2020年8月25日)	4,829	74	△0.4	18,560.97	△0.3	0.2	2,671
	93期 (2020年9月25日)	4,632	74	△2.5	18,098.72	△2.5	0.2	2,579
	94期 (2020年10月26日)	4,536	74	△0.5	18,036.65	△0.3	0.2	2,501
	95期 (2020年11月25日)	4,642	74	4.0	18,800.56	4.2	0.2	2,506

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクローキア高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		高 配 当 株 (円ハッジ・ベース) (参 考 指 数)	戦 略 指 数 騰 落 率	投 資 信 託 債 券 組 入 証 書 比 率	債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第 90 期	(期 首) 2020年 5 月 25 日	円 4,726	% -	17,227.64	% -	% 97.1	% 0.2
	5 月 末	4,917	4.0	17,958.05	4.2	97.8	0.1
	(期 末) 2020年 6 月 25 日	4,989	5.6	18,243.53	5.9	98.2	0.1
第 91 期	(期 首) 2020年 6 月 25 日	4,915	-	18,243.53	-	98.2	0.1
	6 月 末	4,792	△2.5	17,781.26	△2.5	98.5	0.2
	(期 末) 2020年 7 月 27 日	4,997	1.7	18,615.77	2.0	98.2	0.1
第 92 期	(期 首) 2020年 7 月 27 日	4,923	-	18,615.77	-	98.2	0.1
	7 月 末	4,889	△0.7	18,476.59	△0.7	98.6	0.1
	(期 末) 2020年 8 月 25 日	4,903	△0.4	18,560.97	△0.3	98.3	0.2
第 93 期	(期 首) 2020年 8 月 25 日	4,829	-	18,560.97	-	98.3	0.2
	8 月 末	4,868	0.8	18,720.25	0.9	97.1	0.1
	(期 末) 2020年 9 月 25 日	4,706	△2.5	18,098.72	△2.5	98.4	0.2
第 94 期	(期 首) 2020年 9 月 25 日	4,632	-	18,098.72	-	98.4	0.2
	9 月 末	4,693	1.3	18,349.67	1.4	98.5	0.2
	(期 末) 2020年 10 月 26 日	4,610	△0.5	18,036.65	△0.3	98.3	0.2
第 95 期	(期 首) 2020年 10 月 26 日	4,536	-	18,036.65	-	98.3	0.2
	10 月 末	4,339	△4.3	17,240.79	△4.4	98.5	0.2
	(期 末) 2020年 11 月 25 日	4,716	4.0	18,800.56	4.2	98.3	0.2

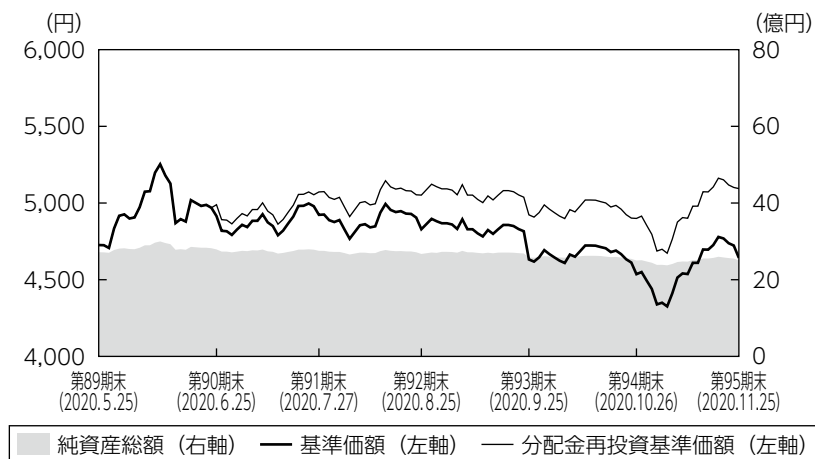
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第90期～第95期の運用経過（2020年5月26日から2020年11月25日まで）

基準価額等の推移



第90期首： 4,726円
 第95期末： 4,642円
 （既払分配金444円）
 騰落率： 7.8%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期間の基準価額は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Aクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジあり）A」といいます）の価格上昇が基準価額（分配金再投資ベース）のプラス要因となりました。

当作成期間の基準価額は360円（分配金込み）の値上がりとなりましたが、その内訳はおおよそ表のとおりとなります。Aの実質的な投資資産の価格変動が最大の上昇要因（430円）となりました。

内 訳 (概 算)	当 作 成 期 間
A 実質的な投資資産の価格変動	430円
B 為替レートの変動	△11円
C 信託報酬等	△45円
D その他の要因	△13円
E 当作成期間の純損益 (A + B + C + D)	360円
F 分配金	△444円
基準価額の騰落額 (E + F)	△84円

- ・「A 実質的な投資資産の価格変動」は、当作成期間中における高配当株戦略指数の構成銘柄の変動率を基に算出したものです。
 - ・「B 為替レートの変動」は、当ファンドが実質的な投資対象とする高配当株戦略指数の変動率から実質的な投資資産の変動率を差し引いた値を基に算出しております。
 - ・「C 信託報酬等」は、当ファンドで支払う信託報酬等および外国投資信託の信託報酬等が含まれます。
 - ・「D その他の要因」には、外国投資信託の売買執行タイミングで生ずる雑損益や売買コストなどが含まれます。
- ※上記の数値は「簡便法」により計算しておりますので、実際の数値とは異なります。したがって、あくまで騰落額の要因を知るための目安としてお考えください。各項目の数値は単位未満四捨五入しております。

投資環境

世界主要国の株式市場は上昇しました。米国では、9月にハイテク株を中心に利益確定とみられる売りが広がり下落する局面はあったものの、金融緩和の長期化観測や新型コロナウイルスワクチン開発期待などから、大幅に上昇しました。欧州ではユーロ高の進行などで上値を抑えらえる局面もありましたが、作成期を通してみると堅調に推移しました。日本においても、安倍首相辞任の発表で一時的な混乱はありましたが、欧米同様、堅調に推移しました。

国内短期金融市場は、日銀のマイナス金利政策の継続から国庫短期証券3カ月の利回りはマイナスの水準で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当作成期間を通じて「エクイティファンド（ヘッジあり）A」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

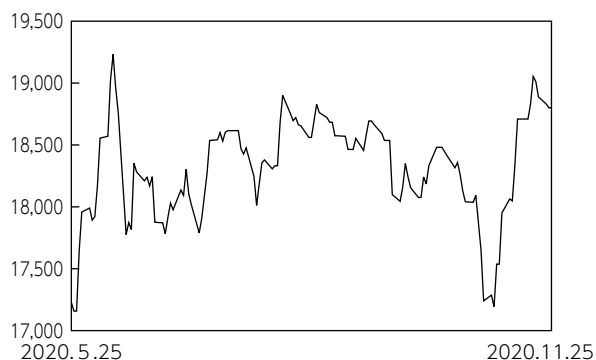
●エクイティファンド（ヘッジあり）A

主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

●国内マネー・マザーファンド

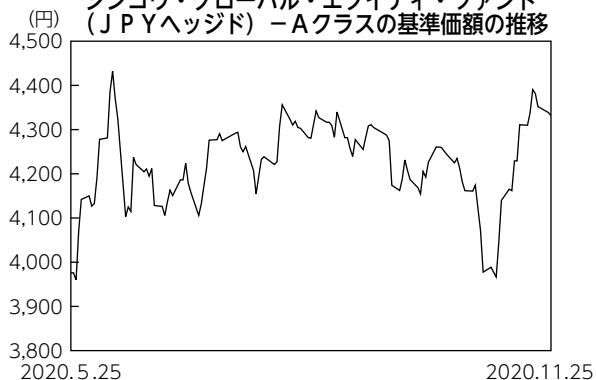
残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）の推移



※高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

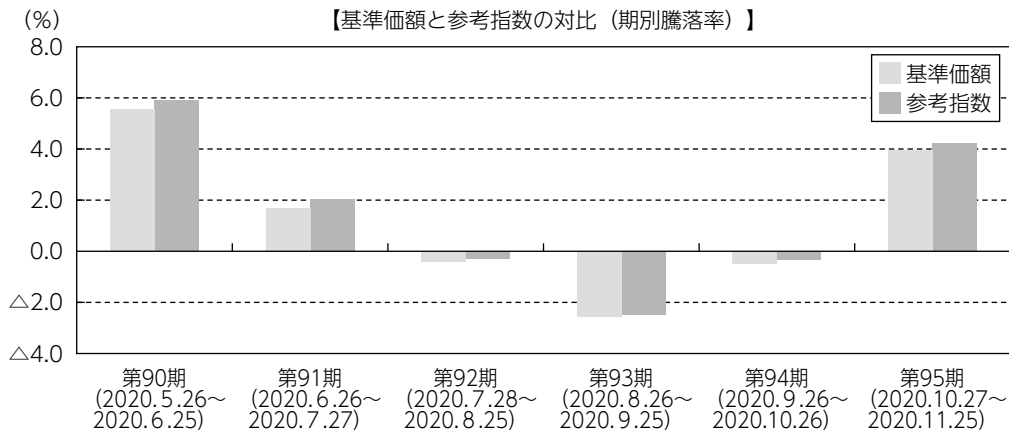
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド
（JPYヘッジド）-Aクラスの基準価額の推移



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金は、年1回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第90期から第95期はそれぞれ1万口当たり74円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年5月26日 ~2020年6月25日	2020年6月26日 ~2020年7月27日	2020年7月28日 ~2020年8月25日	2020年8月26日 ~2020年9月25日	2020年9月26日 ~2020年10月26日	2020年10月27日 ~2020年11月25日
当期分配金（税引前）	74円	74円	74円	74円	74円	74円
対基準価額比率	1.48%	1.48%	1.51%	1.57%	1.61%	1.57%
当期の収益	74円	74円	74円	74円	74円	74円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,475円	2,485円	2,497円	2,509円	2,520円	2,535円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続きエクイティファンド（ヘッジあり）Aを高位に維持し、収益の獲得を目指します。

●エクイティファンド（ヘッジあり）A

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

●国内マネー・マザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用を目指していきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第90期～第95期		項目の概要
	(2020年5月26日 ～2020年11月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31円	0.652%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,802円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(9)	(0.193)	
(販売会社)	(21)	(0.443)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	31	0.654	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

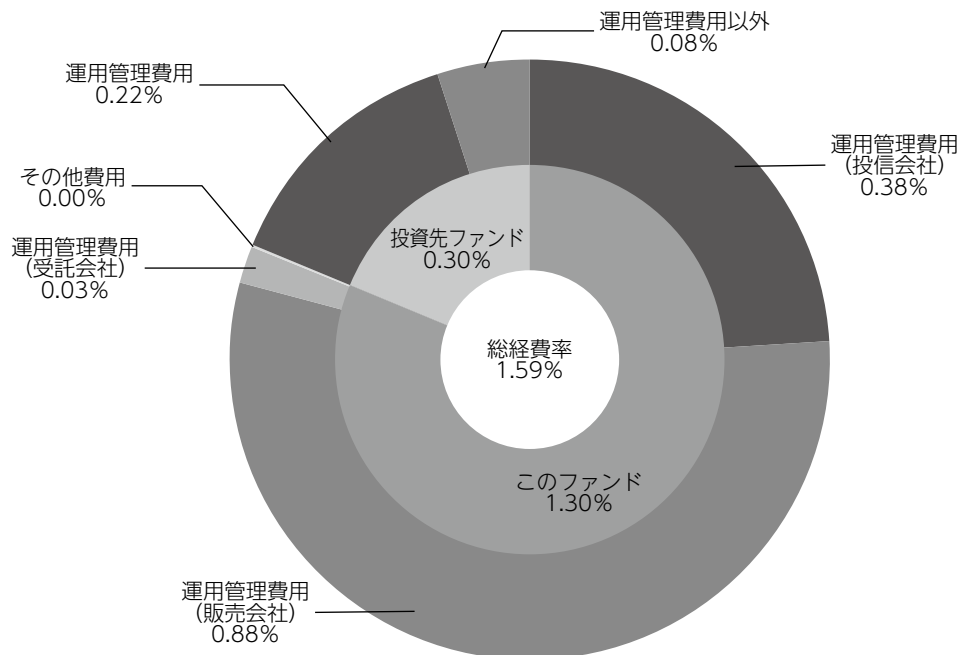
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



総経費率 (①+②+③)	1.59%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2020年5月26日から2020年11月25日まで）

投資信託受益証券

		第 90 期 ~ 第 95 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨建	シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（JPYヘッジド）-Aクラス	千□ 74,257.426	千円 30,000	千□ 302,365.811	千円 120,000

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年5月26日から2020年11月25日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2020年5月26日から2020年11月25日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 15 作 成 期 末		第 16 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（JPYヘッジド）-Aクラス	千□ 6,637,427.208	千円 6,409,318.823	千円 2,464,383	% 98.3
合 計	6,637,427.208	6,409,318.823	2,464,383	98.3

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 15 作 成 期 末		第 16 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
国内マネー・マザーファンド	千□ 4,951	千円 4,951	千円 4,998	

■投資信託財産の構成

2020年11月25日現在

項 目	第 16 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,464,383	% 96.0
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	4,998	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	98,086	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	2,567,467	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年6月25日)、(2020年7月27日)、(2020年8月25日)、(2020年9月25日)、(2020年10月26日)、(2020年11月25日)現在

項 目	第 90 期 末	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末	第 94 期 末	第 95 期 末
(A) 資 産	2,841,879,137円	2,797,980,558円	2,725,686,329円	2,626,273,485円	2,552,249,141円	2,567,467,237円
コール・ローン等	95,624,177	88,365,512	74,934,762	82,605,015	87,601,072	98,086,131
投資信託受益証券(評価額)	2,741,257,436	2,704,617,522	2,625,754,043	2,538,670,946	2,459,650,545	2,464,383,087
国内マネー・マザーファンド(評価額)	4,997,524	4,997,524	4,997,524	4,997,524	4,997,524	4,998,019
未 収 入 金	-	-	20,000,000	-	-	-
(B) 負 債	51,722,023	44,587,201	53,833,334	46,659,859	51,179,103	60,667,241
未払収益分配金	42,010,227	41,386,217	40,940,707	41,214,827	40,800,438	39,964,329
未 払 解 約 金	6,568,685	58,658	10,072,661	2,450,880	7,513,241	18,036,142
未 払 信 託 報 酬	3,133,540	3,132,760	2,811,380	2,985,033	2,856,801	2,658,764
その他未払費用	9,571	9,566	8,586	9,119	8,623	8,006
(C) 純資産総額(A-B)	2,790,157,114	2,753,393,357	2,671,852,995	2,579,613,626	2,501,070,038	2,506,799,996
元 本	5,677,057,736	5,592,732,071	5,532,528,107	5,569,571,265	5,513,572,761	5,400,585,020
次期繰越損益金	△2,886,900,622	△2,839,338,714	△2,860,675,112	△2,989,957,639	△3,012,502,723	△2,893,785,024
(D) 受 益 権 総 口 数	5,677,057,736口	5,592,732,071口	5,532,528,107口	5,569,571,265口	5,513,572,761口	5,400,585,020口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,915円	4,923円	4,829円	4,632円	4,536円	4,642円

(注) 第89期末における元本額は5,748,387,832円、当作成期間(第90期～第95期)中における追加設定元本額は205,830,002円、同解約元本額は553,632,814円です。

■損益の状況

〔自 2020年5月26日 至 2020年6月25日〕〔自 2020年6月26日 至 2020年7月27日〕〔自 2020年7月28日 至 2020年8月25日〕〔自 2020年8月26日 至 2020年9月25日〕〔自 2020年9月26日 至 2020年10月26日〕〔自 2020年10月27日 至 2020年11月25日〕

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(A) 配 当 等 収 益	50,913,397円	50,446,229円	50,270,697円	50,594,979円	50,096,297円	49,413,717円
受 取 配 当 金	50,917,597	50,448,489	50,272,381	50,598,188	50,097,469	49,414,878
受 取 利 息	15	15	5	21	6	6
支 払 利 息	△4,215	△2,275	△1,689	△3,230	△1,178	△1,167
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	100,909,214	△1,176,133	△58,348,102	△116,889,786	△59,121,786	50,007,807
売 買 益	102,216,379	577,177	440,732	125,536	821,470	50,663,674
売 買 損	△1,307,165	△1,753,310	△58,788,834	△117,015,322	△59,943,256	△655,867
(C) 信 託 報 酬 等	△3,143,111	△3,142,326	△2,819,966	△2,994,152	△2,865,424	△2,666,770
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	148,679,500	46,127,770	△10,897,371	△69,288,959	△11,890,913	96,754,754
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,177,112,018	△2,033,529,398	△2,001,726,506	△2,028,629,000	△2,111,243,830	△2,113,822,506
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△816,457,877	△810,550,869	△807,110,528	△850,824,853	△848,567,542	△836,752,943
(配 当 等 相 当 額)	(938,997,051)	(926,470,849)	(917,692,670)	(932,583,028)	(924,594,034)	(906,886,296)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,755,454,928)	(△1,737,021,718)	(△1,724,803,198)	(△1,783,407,881)	(△1,773,161,576)	(△1,743,639,239)
(G) 合 計 (D+E+F)	△2,844,890,395	△2,797,952,497	△2,819,734,405	△2,948,742,812	△2,971,702,285	△2,853,820,695
(H) 収 益 分 配 金	△42,010,227	△41,386,217	△40,940,707	△41,214,827	△40,800,438	△39,964,329
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,886,900,622	△2,839,338,714	△2,860,675,112	△2,989,957,639	△3,012,502,723	△2,893,785,024
追 加 信 託 差 損 益 金	△816,457,877	△810,550,869	△807,110,528	△850,824,853	△848,567,542	△836,752,943
(配 当 等 相 当 額)	(938,997,062)	(926,470,860)	(917,692,679)	(932,583,049)	(924,594,045)	(906,886,306)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,755,454,939)	(△1,737,021,729)	(△1,724,803,207)	(△1,783,407,902)	(△1,773,161,587)	(△1,743,639,249)
分 配 準 備 積 立 金	466,240,831	463,850,517	464,177,531	464,931,545	465,304,785	462,657,128
繰 越 損 益 金	△2,536,683,576	△2,492,638,362	△2,517,742,115	△2,604,064,331	△2,629,239,966	△2,519,689,209

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	49,863,528円	47,308,380円	47,454,873円	47,605,156円	47,235,227円	48,092,255円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	938,997,062	926,470,860	917,692,679	932,583,049	924,594,045	906,886,306
(d) 分 配 準 備 積 立 金	458,387,530	457,928,354	457,663,365	458,541,216	458,869,996	454,529,202
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	1,447,248,120	1,431,707,594	1,422,810,917	1,438,729,421	1,430,699,268	1,409,507,763
(f) 1万口当たり当期待対象額	2,549.29	2,559.94	2,571.72	2,583.20	2,594.87	2,609.92
(g) 分 配 金	42,010,227	41,386,217	40,940,707	41,214,827	40,800,438	39,964,329
(h) 1万口当たり分配金	74	74	74	74	74	74

■分配金のお知らせ

決算期	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万口当たり分配金	74円	74円	74円	74円	74円	74円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) – Aクラス／Bクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（円建て、円ヘッジあり）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決算日	12月末
関係法人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：CIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行会社兼保管受託銀行：ミズホ・バンク（USA）
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行会社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。この他に、監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）－Ａクラス」及び「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）－Ｂクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）」の個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）」の状況

(1) 財政状態計算書

2019年12月31日現在

(日本円表示)

資産		
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (取得原価 2019年：2,748,439,470円)		3,988,415,860
現金		29,385,949
資産合計		4,017,801,809
負債		
未払管理事務代行報酬及び未払保管受託報酬		1,375,050
未払専門家報酬		3,108,106
未払管理報酬		508,217
未払受託者報酬		829,656
その他の負債		593,424
負債合計（受益者に帰属する純資産を除く）		6,414,453
受益者に帰属する純資産		4,011,387,356
1口当たりの純資産価額		
クラスAファンド証券 (発行済ファンド証券口数 2019年：6,716,031,620口)		0.5342
クラスBファンド証券 (発行済ファンド証券口数 2019年：322,691,336口)		1.3134

(2) 包括利益計算書

2019年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益／（損失）		
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益		554,769,914
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現利益／（損失）の変動純額		404,138,802
		958,908,716
費用		
管理事務代行報酬及び保管受託報酬		5,899,089
管理報酬		2,180,240
専門家報酬		3,204,888
受託者報酬		1,698,296
その他報酬		326,401
		13,308,914
純投資利益／（損失）		945,599,802
財務費用		
受益者への分配金		(746,409,974)
運用より生じた受益者に帰属する純資産の増加／（減少）額		199,189,828

(3) 損益を通じて公正価値で測定する金融資産
2019年12月31日現在

(単位：日本円)

	取得原価	公正価値
トータル・リターン・スワップ契約	2,748,439,470	3,988,415,860
	2,748,439,470	3,988,415,860

国内マネー・マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2020年1月15日）

（計算期間 2019年1月16日～2020年1月15日）

国内マネー・マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	期中騰落率			
10期（2018年1月15日）	10,104	△0.1	—	—	487
11期（2019年1月15日）	10,097	△0.1	—	—	470
12期（2020年1月15日）	10,093	△0.0	96.4	—	312

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

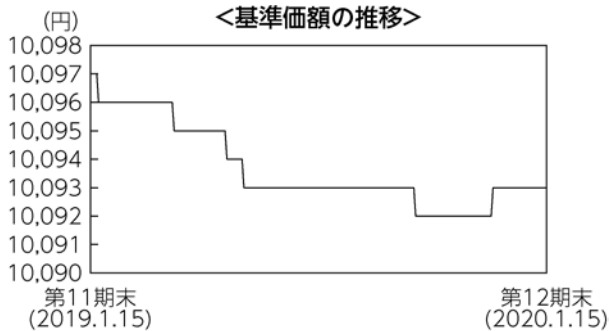
年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2019 年 1 月 15 日	10,097	—	—	—
1 月 末	10,096	△0.0	—	—
2 月 末	10,096	△0.0	—	—
3 月 末	10,095	△0.0	—	—
4 月 末	10,095	△0.0	—	—
5 月 末	10,093	△0.0	54.7	—
6 月 末	10,093	△0.0	65.6	—
7 月 末	10,093	△0.0	65.5	—
8 月 末	10,093	△0.0	65.4	—
9 月 末	10,092	△0.0	65.3	—
10 月 末	10,092	△0.0	65.3	—
11 月 末	10,093	△0.0	96.5	—
12 月 末	10,093	△0.0	96.4	—
(期 末) 2020 年 1 月 15 日	10,093	△0.0	96.4	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2019年1月16日から2020年1月15日まで）

基準価額等の推移



当ファンドの基準価額は前期日末比で下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

当期間の残存3か月程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス

圏で推移しました。

日銀は黒田総裁の第2期以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっています。一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

ポートフォリオについて

流動性や信用力を勘案し、残存1年以内の公社債を中心に運用を行いました。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はございません。

■ 売買及び取引の状況 (2019年1月16日から2020年1月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
国	内地債券	千円 303,541	千円 - (-)

(注) 金額は受渡代金です (経過利子分は含まれておりません)。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年1月16日から2020年1月15日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地方債券	千円 300,000	千円 300,853	% 96.4	% 96.4	% -	% -	% 96.4
合計	300,000	300,853	96.4	96.4	-	-	96.4

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、BB格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内 (邦貨建) 公社債銘柄別

銘柄	当 期				末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
(地方債証券)	%	千円	千円		
336回 大阪府公募公債	1.4600	50,000	50,146	2020/03/30	
20年度9回 奈良県債	1.3800	250,000	250,706	2020/03/31	
合計	-	300,000	300,853	-	

■投資信託財産の構成

2020年1月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 300,853	% 96.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	11,375	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	312,229	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	312,229,328円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,150,232
地 方 債 証 券(評価額)	300,853,732
未 収 利 息	1,225,364
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	312,229,328
元 本	309,355,418
次 期 繰 越 損 益 金	2,873,910
(D) 受 益 権 総 口 数	309,355,418口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,093円

(注1) 期首元本額 466,412,046円
追加設定元本額 -円
一部解約元本額 157,056,628円

(注2) 期末における元本の内訳
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース 4,951,966円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース 4,951,966円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース 990,394円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジありコース 990,394円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース(年1回決算・為替ヘッジなし) 19,702,509円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース(年4回決算・為替ヘッジなし) 267,875,131円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース(年1回決算・為替ヘッジ) 4,947,950円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース(年4回決算・為替ヘッジ) 4,945,108円
期末元本合計 309,355,418円

■損益の状況

当期 自2019年1月16日 至2020年1月15日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	2,501,298円
受 取 利 息	2,668,762
支 払 利 息	△167,464
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,687,268
売 買 損	△2,687,268
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△185,970
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	4,506,481
(E) 解 約 差 損 益 金	△1,446,601
(F) 合 計(C+D+E)	2,873,910
次 期 繰 越 損 益 金(F)	2,873,910

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。